

かつては

潮風に吹かれながら、港町をのんびり歩こう!

内役をお

願いした川﨑明夫さん。

2代目が架けられ、ここが「島」だ

ということに気づかされる。

メノヒボコの但馬開拓で知られる

津居山が島であるという事実は、

北から港小橋、

初代の港橋の横に

.居山に架かる橋は全部で3

かわいいお地蔵さんと出会える趣のある路地

「津山関」と呼ばれた海上交通の要所

がにの港として有名だ。青いタグの 港町の風景が広がる。冬場は松葉 は豊岡市津居山。潮の香りが漂う 川河口にある港橋を渡ると、そこ た「津居山かに」は、 山陰有数

時代に書かれた朝鮮の古文書に 大然の良港に恵まれたこの地に 但馬国津山関が登場する。

津山湊」と呼ばれていた。室町

山の歴史は古く、

かつては

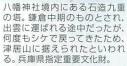
ガニとして知られている。

浄土真宗本願寺派の一乗山照満寺。西本願寺が火災の際に、一番乗りに駆けつけたことから、一乗山の山号が 名付けられたと伝わる。大正12年の建立で、北但大震

災の被災もまぬがれた立派な建物である。

は海の関所があり、 るようになったという説もある。 化もここから伝わったとされる。 表記が見られ始め、昭和初期ま 大小2つある山が対になって 「ついの山」と呼ばれ 代から「津居山」とい 々で呼ばれていたそ 大陸からの文





八の文字が「鳩」

「ここは島なんですよ」とは、案





本堂は文化的価値が高く、意 匠を凝らした建具や彫刻が

津居山の氏神で、祭神は応神天皇を祀る。古くとも500年前に建 立されたものと伝えられ、地元では「八幡さん」と呼ばれている。八の字が鳩が向かい合う姿になっていることから、神奈川県の鶴岡 八幡宮から遷宮されたと考えられている。中世は砦跡とされる。



後の舞鶴から運ばれてきたものと伝わる。大きな火 災の際には、何度も食い止めたといわれ、そのため か、顔は溶けている。海の安全を願う守護仏として、

る佇まいが今も息づいている。 に変えたという。現在の瀬戸運河 開いて、但馬の地を沼地から田畑 れる。伝説ではアメノヒボコが津 山と瀬戸地区との間の大岩を切り 瀬戸の切戸」伝説でも教えてく 小型の漁船が停泊し、風情の

改所」が置かれ、 「の廻船が行き交った。この辺りに また、江戸期には「津居山港船 北前船の面影は、円山川河口付 北前船の風待ち港として、 した浜蔵が9つも置かれていた。 米の集積地とし 諸



れていることが、

碁盤の目

湾奥に入るた

れている。

奥行きの

岩場には人

町のシンボル。